



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第15号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 田島富二夫 (子 43)

編集者：副支部長 鯨井 和幸 (電 47)

発行日：平成25年5月1日

悠久会 埼玉支部 総会(第19回)のご案内

拝啓 新緑の候、支部会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災からようやく(あるいはもう)2年、まだまだ元に戻ったとはとても言えません。その後も続く地震に敏感になったり、大雨による崩落や氾濫が各所であったり、地球が少しずつ変化していると感じます。また人間の世界でも近隣諸国との関係が微妙になってきています。社会も少しずつ変わってきているのですね。良い方にだけ変わるのなら良いのですが…。ということで、

平成25年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおりご案内いたします。当日は、母校・本部ならびに近隣支部から、多数のご来賓をお招きいたします。ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

尚、準備の都合上、5月20日(月)までに到着しますよう、同封の葉書にてご出欠のご連絡を頂きたいお願いいたします。

敬具

記

1、日時 平成25年6月1日(土) 11:00~16:00

2、会場 東晶大飯店

住所 さいたま市大宮区宮町2-28 あじせんビル3F

電話 048-644-0881

交通 大宮駅(新幹線・高崎線・宇都宮線・埼京線等)
東口より徒歩5分

3、式次第

第I部 総会 11:00~12:45

母校・本部近況紹介 他

講演会 (12:00~12:45)

「仏様と技術者の間で…(仮題)」

…パロロ本願寺(ハワイ)前住職

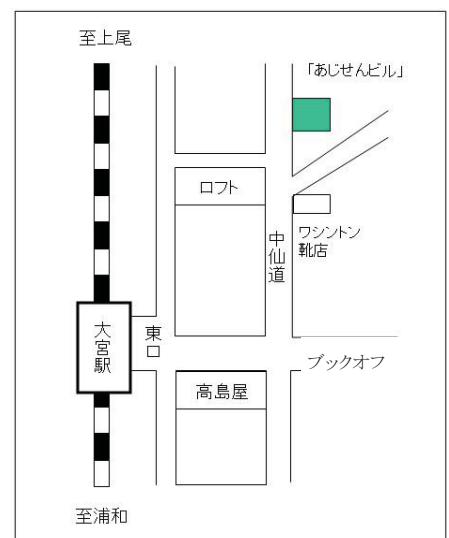
西脇 誠五郎(電35)氏

第II部 懇親会 13:00~16:00

(…二次会、あります。)

4、会費 8,000円

(但し、新卒会員の方は無料、…ご招待とさせていただきます。)



尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からのご案内を差上げて支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません)
ご返信の宛先は、埼玉支部・副支部長(事務局長) 大友 眞(機52)宛となります。

支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円です。支部総会案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等の活動資金です。同封の郵便振替用紙をご利用ください(通常払込料金無料)。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひご納入いただきますようお願いいたします。

平成 25 年支部総会開催にあたり

埼玉支部長

田島 富二夫(子 43)

悠久会埼玉支部の皆様、お元気でご活躍のことと存じます。

今は桜の花も散って、青葉が日増しに大きく、色濃くなってきています。その割に肌寒い日が続いていますが、この会報が皆様の手元に届くころには、上着も要らないほどに暖かくなっていることと思います。陽気の変わり目には寒暖の差が大きくなりますがくれぐれも健康にはご注意ください。

世間では、アベノミクスによるデフレと円高からの脱却、名目 3 パーセント以上の経済成長の達成などを目標とする経済政策、日銀黒田総裁の掲げる異次元の金融緩和策等の様々な経済成長策で株価上昇、円安が進行(金融市場が成長)しています。一方で、我々一般市民には会社や商店等での設備投資・業績、売上げの増加(実体経済の成長)が実感できず、バブル期の状況が再現されているような気もします。ともかくアベノミクスが功を奏して、これから働き盛りを迎える若年層や今まさに働き盛りの中年層の安定就業・安定収入となって生活の安定に繋がってほしいものです。もともと、高齢化社会の中で多数を占める高齢者、年金生活者にとっては、年金は増えない、物価は上がるといった苦しみが増すのではないかという懸念も大きいのですが・・・

中央自動車道笹子トンネルでの天井板落下事故や、ボーイング 787 型機用リチウムイオン電池破損事故、福島原発での貯水槽からの汚染水漏れ等、技術自体の問題と使用方法や管理側の問題が複合して事故に至ったものですが、世界に誇っていた日本の技術がなんとも惨めな実態をさらけ出しているのは、同じ技術者として残念でなりません。

今年の工学部卒業祝賀会は 3 月 25 日に ANA クラウンズホテル新潟で盛大に開催されました。工学部の卒業生は 530 名、そのうちの大多数が大学院へ進学するとのことでした。

少し前までは大勢いた茶髪の学生が、今年の会ではほとんどいなくなったことに気がきました。聞けば、最近では流行らなくなったんだとか。流行の変化も速いのでしょうか、学生諸君も流行についてゆくのが精一杯なのかもしれません。

また理事会では、新卒者の住所不明、親元住所が登録されたままであること等の同窓会名簿の作りにくさの問題が取り上げられました。この問題は大学院にいる間、悠久会との接触がなくなることが要因ではないかとの見解が出され、対応案として、大学院修学中は新潟支部(または学内支部?)に属し、支部総会や全国総会の案内を受け取ったり出欠の連絡を出したりして悠久会との繋がりを保つことができるようにする等の案が出されました。この案については引き続き本部で検討することとなりました。

悠久会は、金銭関係、取引関係、人間の上下関係が無い、皆が平等な人の集まりです。それぞれ違った価値観を持つ自由な個人の集まりです。埼玉支部では故江森初代支部長の時代から“楽しくなければ同窓会ではない”を合言葉に、気楽に参加できる同窓会、誰でも自由に参加できるイベントを目指しています。皆さんも気軽に「ふれあい・さいたまウォーキング」や支部総会に参加してみませんか?

埼玉支部総会は 6 月 1 日(土)に開催します。奮ってご参加ください。

今年の全国総会は工学部創立 90 周年記念総会として、7 月 6 日(土)に新潟で総会と工学部創立 90 周年記念式典、祝賀懇親会、7 月 7 日(日)に佐渡観光が催されます(詳細及び申し込みは 5 月初旬配布の悠久会時報をご参照ください)。また、11 月 24 日(日)には工学部幹事で首都圏同窓会定期総会が御茶ノ水のホテルジュラクで開催されます。いずれにも奮ってご参加ください。そして、学生時代の仲間、先輩、後輩とともに自分も楽しく、仲間も楽しく過ごして下さい。

特別寄稿

ご挨拶 (工学部長に就任して)

新潟大学工学部長

金子 双男(子 47)

悠久会埼玉支部の皆様には益々ご繁栄、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、工学部の発展に貢献された坪川紀夫先生の後を受けて、工学部長の大任を仰せつかりました。また同時に伝統ある工学部同窓会・悠久会の名誉会長に就任することになりました。微力ながら皆様のご協力・ご支援を得て、工学部のさらなる発展に貢献できるように精一杯努力したいと思います。

埼玉支部総会には、何回か訪問させていただいております。平成 24 年度には、「ナノ電子光デバイス・バイオエレクトロニクス」について講演の機会をいただきました。私の研究プロジェクトの専門に関わる話でしたので、わかりにくかったかもしれません。

さて、五十嵐キャンパスには 7 学部があり、古い建物から順次改修を行っています。この 4 月には中央図書館も新しく大きく増築されて見違えるようになっています。

工学部も昭和 54、55 年に長岡市四郎丸から新潟市五十嵐に移転してから既に 30 年以上経過し、老朽化対策と耐震補強が必要になっています。そこで今年の夏から 3 年計画で海側の建物から順次改修に入っていく予定です。工学部を訪れる方々にはしばらくご迷惑をおかけしますが、新しい生まれ変わった工学部校舎となりますのでご理解いただきたいと思ひます。

私の学生時代は、恩師の斎藤昇先生（平成 23 年 8 月ご逝去、元工学部長）に研究はもとより、山菜採りやテニスなど本当に様々なことを教わり、楽しい充実した学生生活を送ることができました。在学生にも学ぶことを本分としつつ実り多い学生生活を送ってほしいと考えています。現在、新潟大学工学部では、国際的に認定された教育プログラムを提供しています。学生が工学部で学んで良かったと思えるよう工学部教職員と協力して頑張りたいと思ひます。

今後ともご支援よろしくお願ひいたします。

写真は斎藤先生と私
(17 年 7 月撮影)



特別寄稿

工学部の教育に関する

最近の取り組みについて

新潟大学 工学部・機械システム工学科

鳴海 敬倫（機 53）

埼玉支部におかれましては、平成 13 年・22 年に全国総会を開催いただき、首都圏の同窓会の中でも大きな役割を果たして頂いておりますことに、衷心よりお礼申し上げます。また、他支部に先駆けて平成 33 年に全国総会開催の名乗りを上げていただきました点につきましても大変感謝申し上げます。

また、貴支部では人の輪を大切にされて、活発な活動を続けられている点も、支部長・役員さらには会員の皆様のご尽力の賜と思ひます。今後とも、悠久会発展のためご助力下さいますようお願い申し上げます。

さて、同窓会会員の皆様方も母校を卒業されて、長く経たれた方も多くいらっしゃると思ひます。皆様それぞれの学生時代に比べ、最近の学生が取り組む内容は時代とともに変わってきております。

本稿では、最近の工学部の教育に関する特徴的な取り組みを紹介させていただきます。

工学部では「附属工学力教育センター」を設置し、創造性を育成する実践的な教育を進めてまいりました。ご存じのように学生のグループによる自主的なものづくりのプロジェクトを展開し、本学と長崎大学・富山大学が持ち回りで開催する「学生ものづくりアイデア展」を続けて、昨年で 10 周年となりました。

現在も、NHK ロボコンへの出場を目指すロボコンチームや全日本学生フォーミュラ大会への出場を目指すフォーミュラチームなど約 10 チームが活動を続けております。直近の話題では、ロボコンチームが本年度も本大会(6/9開催)への出場を勝ち取り、最終段階の準備を進めています。

また、高校でも SSH(スーパーサイエンスハイスクール)などの取り組みとして、研究活動などを体験できる機会があります。大学に入学してくる学生の中にも早くから研究に触れたいという希望を持っている人も多くいます。本工学部では、昨年から文部科学省の理数学生育成支援事業で採択された「スマート・ドミトリーによる高度工学力を有するトップ・グラジュエイト育成プログラム」の取り組みを行っています。上記のものづくりによる開発型のプロジェクトと似た形式、すなわち、学年を超えた学生によるチームで研究活動を行う取り組みとして、現在 13 チームが活動を行っています。先輩が後輩を指導し導き、お互いに成長するスキームを、この活動の中で意識して研究活動に取り組むようにしています。これは、昔であれば普通に行われていた事ですが、最近の人間関係が比較的希薄になってきた世代には、新しいことかもしれません。

ものづくり開発型・研究型どちらの取り組みでも、100 人カネットワーク(工学部の教育支援をいただいている社会人ネットワーク)の皆様をお招きし、学生が直接社会人の皆さんと作品・研究内容などについてディスカッションする機会などを持っています。このように意欲に満ちた学生には、通常の学生生活では体験できない貴重な機会が与えられています。

代表的な取り組みだけ、紹介させていただきましたが、このようにして学んだ学生が、社会人として、それぞれの支部で活躍してくれることと思っております。母校を通した人のつながりが広がっていただけることを期待しております。

今後とも、工学部ならびに同窓会の活動に対する変わらぬご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

社会人の皆様への発表風景



「夢の実現・地球一周船旅」

埼玉支部

北村 紘一（機 38）

* 動機 *

小学生の時に読んだコロンブス、バスコ・ダ・ガマ、マゼランなどへの憧れがあったこと、新潟高校、新潟大学工学部および勤務した会社の先輩の斉藤健さん（M33）が、年賀状で地球一周の旅に参加したと知らせて来られたときから、いつか自分も行きたいという夢を抱いておりました。

昨年1月、新聞の広告でピースボートの102日間地球一周というのが目に入りました。2月に近くで説明会があり行ってみました。北極圏にも行き氷山の中を遊覧するという事に強く引かれました。

私は、一昨年の6月半ばに突然、体調がおかしくなり血圧計で脈拍が30と出て、かかりつけの大学病院に駆けつけたところ、完全房室ブロックと診断され、ペースメーカーを植え込むこととなりました。いつ何時どうなるか分からない歳（71歳）を自覚し、年輩の近親者の体調も安定している現在、自分の体力もある内にと思い切って妻と参加することにしました。

* 旅程 *

横浜を5月8日に出発、アモイ、シンガポール、プーケット、コロomboに寄港、スエズ運河通航、ポートサイド、ミコノス島、ピレウス、カタニア、リスボン、ビルバオ、ル・アーブル、ティルベリー、ヨーテボリ、オスロ、レイキャビク、ラグアイラ、クリストバルに寄港、パナマ運河通航、コリント、プエルトケツアル、マンサニージョ、エンセナーダに寄港、8月17日に横浜に入港しました。各港では様々なツアーが用意されておりましたが私は主に世界遺産を巡りました。ベネズエラではエル・システマの子供たちとの交流に参加、ニカラグアではニカラグア・ニホン友好のフェスティバルとしてオルテガ大統領との会見に参加しました。

* 船内生活 *

洋上では乗船客を退屈させないような工夫がされておりました。

毎晩7時頃、翌日の船内イベントのプログラムを記した船内新聞というものが発行されます。航海の後半は、乗船客の自主企画が増えてプログラムがビッシリ埋まりました。

寄港する国の世界遺産の紹介や国情の説明、オプション観光のコース毎の説明、洋上カルチャースクール、寄港地直前の語学講座、有料の英語やスペイン語の講座のほか様々な自主企画が日常的にあり、自主企画の発表会や洋上運動会などの大きな行事も散りばめられていました。プロの講師や芸能人も区間的に乗船して来ましたが、大半が乗船客が出演者となるものでした。私は、64歳の時に始めたバイオリンを持参しておりましたので練習場所の確保のためもあって「バイオリンなど楽器練習同好会」というのを企画し毎日のように練習しました。甲板では毎朝のラジオ体操や太極拳、廊下ではマーじゃんや囲碁、将棋をする人達もおりました。ピアノ演奏者のいるバーもあり広い居酒屋風の場所もあり盛況でした。毎晩船専属バンドが出るバーがあり、社交ダンスをする人たちが集まっていました。私は乗船前ダンスサークルに入っていましたのでよく行きました。

メインレストランでは、誕生日の人にケーキが振舞われハッピーバースデーの曲が流れるとウエイトレスやウエイターが手拍子を打って集まってきました。フォーマルウェアで参加するディナーパーティーも何回かありました。毎食、席には先着順にウエイター達が案内しますので老若男女いろんな人に出会いました。自主企画の県人会もありました。乗組員はほとんど外人、乗船客も多種多様で世の中にはいろんな人がいることを再認識しました。船上で出会って結婚式を挙げた年配者もいました。「60歳の正真正銘の独身男性集まれ」という自主企画を立ち上げた年配女性もいました。

* トラブル *

デンマーク政府の入域許可が下りないとのことで当初予定の小舟での北極圏のイルリサットアイスフィヨルド沖観光が中止になりました。これがあるから参加したようなことでもあるので大変残念でした。代わりにノルウエーのソグネフィヨルドとネーロイフィヨルドに船を乗り入れたし、グリーンランド脇の北極圏では、大きな氷山の周りを船が一周してくれたので少し慰められました。

驚いたことは、3人ほど病気で亡くなったこと、強風の日甲板の出入口のドアに手を挟まれて横浜入港直前まで三角巾で手を吊っていた人やオプション観光に出かけるときに税関付近で転倒し腕の骨にボルトを入れるほどの手術を受け、その後、途中で下船した人、病気で途中下船した人などがいたことです。

講演会などの会場の空調温度が低すぎて、風邪が流行って風邪に罹らない人がいないような状態になったこともありました。風邪が治らず寝込んで下船を考えた人もいました。私共も風邪に罹り1週間ほど困りましたが、寝込むこともなく横浜に帰国できたことは幸いでした。「最後の発表会」という行事の時、夕方、社交ダンスの先生の模範演技が始まったところで全停電がありました。船も止まり窓のある所以外は暗闇に

なり、騒音もなく異様な静けさでした。
30分ほどで復旧し発表会も再開されました。

感想

地球上にはいろんな国があることを実感できました。貧困層の多い国も察知出来ました。食事、トイレ、風呂、治安、日本ほど良い国はないのではないかと思います。ピースボートは自作自演という感じで積極的に楽しむ船でした。資金があれば今度は南回りに行ってみたいと思います。

六月十六日
発表会



北極圏の南、
氷山の名所

「ふれあい・さいたまウォーキング」活動報告

埼玉支部 副支部長

出井 道夫 (機 52)

埼玉支部の恒例行事「ふれあい・さいたまウォーキング」の活動を報告致します。
歩いて訪ねる埼玉再発見の旅です。平成24年度は、4回のウォーキングを行いました。

第36回 野火止用水(新座)を訪ねる旅

期日:平成24年7月14日

梅雨の時期で延期になりましたが、野火止用水から平林寺を訪ねる旅に、10名の参加がありました。同窓生の友人も加わり、楽しいウォーキングでした。江戸時代に開削された野火止用水は、汚染が進みましたが、復元計画により保全対策が行われています。平林寺は松平(徳川)家の菩提寺で、広大な境内林は国の指定天然記念物に指定されています。秋の紅葉が見事です。



東武東上線 志木駅からスタート

第37回 荒川コスモス街道(吹上)を訪ねる旅

期日:平成24年10月13日

昨年雨のため中止になった、荒川堤コスモス街道の再計画で、参加者は10名でした。延々と続くコスモス畑は圧巻で、1000万本とも言われています。しかし去年は、夏の暑さで一部生育が不十分なところがありました。途中には、日本一長い水管橋(送水管)も見られます。色とりどりのコスモスに、癒されました。



荒川 コスモス畑

第38回 紅葉の鎌北湖を訪ねる旅

期日:平成24年11月24日

晩秋の里山を訪ねる旅に、8名が参加しました。鎌北湖は釣り人に人気のある人造湖です。湖の周囲にはもみじが植えられており、秋の紅葉スポットとしても知られています。鎌北湖から「宿谷の滝」そして、武者小路実篤が目指した理想郷「新しき村」を訪ねました。晴天の一日で途中では、紅のもみじだけでなく、金色に輝く银杏や冬桜なども楽しめました。



鎌北湖

第39回 水と緑の街 戸田を訪ねる旅

期日:平成25年3月16日

春のうららかな日差しの中で、埼玉県南部の街、戸田を訪ねました。参加者は9名でした。戸田ポートコースでは老若男女が、気持ちよさそうにボートやカヌーを滑らせていました。途中のお寺(妙顕寺)では満開の早咲きの桜が見られ、道満グリーンパークではバーベキューを楽しむ家族連れが、集まっていました。



道満グリーンパーク

埼玉支部ではこれからも季節毎に、「ふれあいウォーキング」を計画します。興味のある方・参加希望される方には、案内をEメールでお送りしますので、お気軽に下記アドレスにご連絡下さい。県外支部や他学部からの参加も大歓迎です。同窓生と気楽に歩いてみませんか。
連絡先:出井(機52) :kwgid@pop.kcv-net.ne.jp

***** 支部・編集子からのお知らせ *****

※ 今年の全国総会は、新潟です。

『トキ飛翔！新潟総会』（工学部創立90周年記念総会）

・・・7月6日(土)～7日(日) 新潟市
総会及び記念講演会 新潟大学五十嵐キャンパス
懇親会 ホテルイタリア軒

詳しくは、悠久会時報・第123号をご覧ください。

尚、今回の時報は印刷の都合で、発送が若干遅れる見込みとのことです。

※ 来年以降の全国総会開催地は、以下の予定です。

- ・平成26年 日立・鹿島(協同開催)
- ・平成27年 京滋
- ・平成28年 千葉
- ・平成29年 栃木
- ・平成30年 東京
- ・平成31年 群馬

※ お忙しい中、原稿を寄せて頂きました 金子学部長・鳴海先生及び北村様
ありがとうございました。

さらなるご活躍を、埼玉支部一同、ご祈念申し上げます。

※ 昨年度(第18回)埼玉支部総会 集合写真です。



6月1日(土) AM11:00 「東晶大飯店」で、お待ちしております。